

2006年9月8日
MR/J32/06



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-3-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

公開シンポジウム：水災害・リスクマネジメント 9月14日（木）国連大学にて

内容： ICHARM 設立記念式典および記念シンポジウム
日時： 2006年9月14日（木）（午前10:00～午後6:00）
場所： ウ・タント国際会議場（UNハウス3階、渋谷区）
共催： 土木研究所（PWRI）／水災害・リスクマネジメント国際センター（ICARM）
国際連合大学（UNU）

概要：

- 洪水や渇水などの水に関連する災害は、人類の持続可能な開発、貧困の削減を実施するために克服すべき主要な課題の一つである。
- 激甚な水関連災害は、これまで世界各地で発生しており、近年、その数が増えつつあるだけでなく、人口の急激な増加、都市への人口・資産の集中、及びハイテクなどの資産の高度化に伴い、その被害・影響も増加する一方である。
- 世界各地で頻発する水関連災害への適切な対応は、2002年に南アフリカ共和国・ヨハネスブルグで開催された持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）や2003年に京都・滋賀・大阪で開催された第3回世界水フォーラムをはじめとする国際会議において、その迅速な実施の重要性が認識・提言されてきた。
- 洪水や渇水などの水に関連する災害については、国連大学でも、環境と持続可能な開発プログラムにおいて、アジア太平洋州諸国を対象とした「大災害の洪水に対するリスク評価」などで研究されている。

イベントについて：

- 記念式典は、午前10時から午前11時まで。開会挨拶、来賓祝辞に引き続き、ICARMの活動方針等を紹介。
- 午前11時からの設立記念シンポジウムでは、「カトリナ災害の教訓」、「水災害分野における兵庫行動枠組みの実行とISDR」、「減災への投資—マリキナ（フィリピン）でのケーススタディ」、「南アメリカ地域の都市洪水管理」、「洪水災害軽減に向けたWMOの取り組み」、「ユネスコ国際水文計画（IHP）活動の概要」について、国内外から招いた6名の講師による講演が予定されている。
- 詳しくは、以下ホームページ参照：http://www.icharm.pwri.go.jp/html_j/news/2006914.html

取材をご希望される方は、お席のご用意をさせていただきます。9月12日（火）までに、下記担当者までお知らせください。国連大学広報部、担当：小野里（おのざと）（電話：03-3499-2811；メール：media@unu.edu）

MEDIA ALERT